

# 平成30年 春の叙勲・褒章・危険業務従事者叙勲 受章者の声



瑞宝小綬章 【消防功労】

つかよし しずか  
塚越 凧 氏（下平柳）70歳

■元 松戸市消防正監

塚越氏は、昭和42年に松戸市消防吏員を拝命し、多くの消防業務に従事、その後(財)日本消防協会に派遣、この間米国・シアトルでの国際会議を経験され、また松戸市消防局では、各課長・署長さらには平成20年消防局長として退職されるまで、永きにわたり消防行政の発展に寄与されました。

【受章者の声】このたびの受章に際しまして、防人の一翼として、職務に専念してきた結果として重く受けとめ、大変光栄に存じております。これもひとえに多くの関係者の皆さまや家族の支えの賜物であり、深く敬意と感謝を申し上げます。今後も地域の皆さまと共に献身奉仕の精神により、微力を傾注してまいります。



瑞宝双光章 【教育功労】

いしづか まさのり  
石塚 眞典 氏（筒戸）71歳

■元 公立中学校長

石塚氏は、昭和44年に教員となって以後、平成19年谷和原中学校校長として退職されるまでの38年間、主に県南地区の小・中学校に勤務されました。常に「子どもたちのために」をモットーとして職務に専念され、退職後も、本市の教育長として教育行政の発展に貢献されました。

【受章者の声】このたびは叙勲の栄に浴し、感激しております。この栄誉は、職場や学校関係者・地域の皆さま、そして私を支えてくれた家族のお陰と感謝しております。これを機に、気持ちを新たに残りの人生を精一杯生きていきたいと思っております。



瑞宝双光章 【消防功労】

はねだ ただお  
羽田 忠夫 氏（谷井田）65歳

■元 取手市消防監

羽田氏は、昭和46年に藤代町消防本部消防士を拝命され、藤代消防署に配属。平成25年取手市消防長として退職されるまで、主に市を挙げての大規模な防災訓練や、各事業所・学校などで行う消火・避難訓練の指導にあたり、市民の防災意識の向上や消防団制度の改善に尽力されました。

【受章者の声】このたび叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。これもひとえに、職場の諸先輩、同僚をはじめ関係者の皆さま方のご指導、ご協力があったものと心から感謝しております。これからは、健康に留意し、これまでの経験を活かし、微力ながら地域に貢献できればと思っております。



瑞宝単光章 【警察功労】

ばば としお  
馬場 利男 氏（小張）71歳

■元 警視庁警部

馬場氏は、昭和48年に警視庁に入庁され、麻布警察署に配属。その後、南千住警察署、綾瀬警察署、葛飾警察署、愛宕警察署を経て、向島警察署に勤務されました。平成19年に退職されるまで、永きにわたり住民の生命と地域の安全を守るため、その職務を全うされました。

【受章者の声】このたびは叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。これも多くの関係者の皆さまと、支えてくれた家族のおかげと感謝しています。今後は、健康に留意し、日々大切に過ごしてまいります。



瑞宝単光章 【消防功労】

しいな みつよし  
椎名 光良 氏（筒戸）67歳

■元 松戸市消防司令

椎名氏は、昭和45年に松戸市消防局消防吏員を拝命され、小金消防署に配属。その後、五香消防署をはじめとした各消防署および消防局予防課での勤務を経て、平成23年に中央消防署副署長として退職されるまで、永きにわたり地域住民の生命と安全を守る職責を全うされました。

【受章者の声】このたび叙勲の栄に浴し、皇居にて天皇陛下に拝謁を賜り大変な光栄と併せ、身の引き締まる思いでございます。これもひとえに職場の先輩、同僚をはじめ、多くの方々のご支援の賜と深く信じております。また私を支えてくれた家族の理解と協力のお陰と感謝しております。



瑞宝単光章 【鉄道業務功労】

こすげ としただ  
小菅 利公 氏（足高）65歳

■元 東京地下鉄(株)銀座線乗務管区区長

小菅氏は、昭和46年に帝都高速鉄道交通営団（現・東京地下鉄(株)）に入団、駅係員を拝命され、南千住駅務区に配属。その後、車掌として綾瀬車掌区、千住車掌区などを経て、銀座線乗務管区を最後に退職されるまで、39年の永きにわたり、お客様の安心・安全輸送を提供する職責を全うされました。

【受章者の声】叙勲の栄誉を賜り身に余る光栄と家族ともども深く感謝しております。鉄道従事者として安全・安定輸送に永年にわたり運転業務に関わり、職責を果たすことができました。これもひとえに多くの関係者の皆さまのおかげと深く感謝しております。今後も鉄道事業の発展を祈念し、この栄誉に恥じることはないよう一層精進してまいります。